

# 平成28年度 地方創生関連事業の実績

区分	具体事業	総事業費	交付金充当額	担当課	目的	個別事業の実績	設定KPI	各課における事業の検証(振り返り)と今後の課題
地方創生推進交付金	育てる漁業で地方創生～イワガキ等養殖ブランド化事業～	12,466,630	4,943,000	耕地林務水産課 林務水産係	志布志市における漁業は、第一次産業を核とする経済活動の柱と位置付けられている一方、「漁業従事者の高齢化」及び「漁獲高の減少」が続いている。また、近年漁業への新規就労状況も低迷しているなど、漁業が衰退の一途をたどる。 このような現状を打開すべく、志布志市と志布志漁業協同組合と新たな事業導入を検討する中で、志布志湾内であつて水揚げのあつた水産物のうち、イワガキ・トコブシ・アサリ等の増養殖事業「育てる漁業」を実施することとした。 これにより、漁業従事者の漁労の軽減と安定的出荷体制を構築する事業の導入を検討している。さらに、後継者や新規就業者が安定的な生活を営める産業の形成を目指すとともに、出荷体制の整備や海鮮レストラン等の直営を通じた6次産業化の取組みを通じ、新規雇用の拡大と定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>イワガキ等の稚貝、養殖機材及び品質向上対策の施設整備を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>稚貝等購入費 1,126,000円</li> <li>イワガキ稚貝20,000個(カルチ)3,000個(シングル30mm)、いかだ用フロート、塩ビパイプ・ステンレスフック・丸籠・ラッセル籠・蛙又籠等購入した。</li> <li>養殖機材等購入費 1,280,000円</li> <li>イワガキ養殖筏、ステンレス製作業台、ジャンボックス(イワガキ洗浄用水槽)、リスナー(イワガキ洗浄用カゴ)を購入した。</li> <li>出荷品質向上対策費 6,400,000円</li> <li>品質管理室兼作業室施設整備、紫外線殺菌装置、ろ過装置一式を購入した。</li> </ul> </li> <li>計) 8,806,000円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規雇用者数 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度末・・・8人</li> <li>平成31年度末・・・15人以上</li> </ul> </li> <li>年間出荷金額 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度末・・・10,500千円</li> <li>①イワガキ 9,000千円</li> <li>②トコブシ 1,400千円</li> <li>③アサリ 100千円</li> <li>平成31年度末・・・15,800千円</li> <li>①イワガキ 14,000千円</li> <li>②トコブシ 1,600千円</li> <li>③アサリ 200千円</li> </ul> </li> <li>海鮮レストラン運営事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>売上(年間) 10,000千円</li> </ul> </li> </ul>	<p>試験養殖を開始して2年が過ぎ、養殖技術も少しずつ改善してきた。 しかしながら、天候や水温等の養殖管理及び養殖洗浄管理等がなかなかうまく行かず、生産までの残存個数の管理技術の習得が今後の課題である。</p> <p>今の岩牡蠣養殖の現状を見ると平成31年の市場流通まで、かなり大変な道のりでもあるため、ドキュメントとして現場のみを撮影してPR動画にするには、まだまだ沢山の問題・課題がある。 そこで、今回の動画は、良くあるありふれた「岩牡蠣の養殖ドキュメント」ではなく、「育てる漁業、昔の海を取り戻す、志布志の挑戦」をベースにした「明るく元気で面白い、笑いながら岩牡蠣養殖を知ることができる」PR映像を作成した。3月末に公開し、1ヶ月で3万回の再生があった。</p>
地方創生加速化交付金(平成27年度繰越)		6,952,939	5,540,000	耕地林務水産課 林務水産係		<ul style="list-style-type: none"> <li>志布志の漁業・海産物ブランド化に向けた広報映像を作成した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>PRコンテンツ制作費 1,080,000円</li> <li>株式会社ふじやま学校と契約し、動画共有サービス「YouTube」サイト掲載用(シンガーデ)動画を作成した。</li> <li>計) 1,080,000円</li> </ul> </li> <li>人材育成費 2,000,000円</li> <li>調査研究費 1,100,000円</li> <li>稚貝購入費 1,259,000円</li> <li>備品購入費 1,141,000円</li> <li>「育てる漁業」PR費 40,000円</li> <li>計) 5,540,000円</li> </ul>		
地方創生加速化交付金(平成27年度繰越)	使用済み紙オムツ再資源化事業	10,550,000	9,817,755	市民環境課 環境政策係	志布志市は、焼却施設を持たず廃棄物はすべて埋立て処分している。平成12年度から当時の曾於郡8町と共に分別収集を開始し、さらに平成16年度からは独自に「生ごみ」も品目に追加した。その結果、対平成10年度比で毎年80%以上の埋立てごみ削減に成功した。 これにより、平成25年度一般廃棄物処理実態調査において当市はリサイクル率76.8%、また「市」として8年連続日本一となるなど、当市のブランドイメージ向上に大きな効果をもたらしている。さらに、この資源ごみ回収事業に伴い設立された「有限会社そおりサイクルセンター」は、現在地域の中核企業として当市の仕事づくりに重要な役割を果たしている。 そこで、本事業では、これまで再資源化が困難と言われていた「高分子吸収体」を処理する基礎技術を元に、焼却を行わない完全な再資源化を目指し、使用済み紙オムツの再資源化システムの構築と本格事業実施に向けた処理技術の開発を行うことで、新たな分別回収に係る地域雇用の創出を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>再資源化システム構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>旅費 検討会開催等 489,228円</li> <li>委託料 モデル回収 993,600円</li> <li>需用費 協議会、モデル回収等 602,127円</li> </ul> </li> <li>再生処理に係る技術開発 <ul style="list-style-type: none"> <li>委託料 技術開発 7,732,800円</li> </ul> </li> <li>計) 9,817,755円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規雇用者数 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度・・・15人</li> </ul> </li> <li>最終処分場への搬入量 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度比60%減</li> </ul> </li> </ul>	<p>技術開発に関しては、オムツメーカー大手のユニ・チャーム(株)の協力を得ながら、実証施設を整備し、委託先である(有)そおりサイクルセンターにおいて精力的に実証実験が実施された。 排出、回収に関しても、市内3自治会及び2介護施設において、11月からモデル回収を開始し、排出状況及び排出量等を確認するとともに、アンケート調査を実施し排出頻度、問題点等も把握できた。 平成29年度以降も地方創生推進交付金を活用し、実証実験を継続して実施し、再資源化システムの確立を目指す。 今後、広域化を含めたコストの検討を行うとともに、本格稼働時の施設整備費用について補助事業等の活用も検討する。</p>
地方創生加速化交付金(平成27年度繰越)	「大隅はひとつ！」大隅広域観光推進事業～健やかおおすみ半島 おおすみプロジェクト～	4,117,000	4,117,000	港湾商工課 観光係	大隅地域は、温暖な気候と手付かずの豊かな自然、宇宙空間観測所やスポーツ関連施設等、多彩で特色のある観光資源を有しているものの、これまで戦略的かつ効果的な観光施策が行われなかった。さらに、平成6年度に大隅地域4市5町において「大隅広域観光開発推進会議」を設置し、観光や特産品振興等の取組みを進めてきたが、体系的な観光施策として行われていなかったため、「観光客等交流人口の増加」や「ブランド力の向上」に発展できていないのが現状である。 そこで、大隅地域の観光振興を戦略的に推進する「日本版DMO『大隅広域環境協会(仮称)』」の設立を目指し、専門人材の配置の下、広域観光計画の策定、地域内の機運醸成等を行うとともに、複数年に渡り、多様な関係者の合意形成、人材育成、観光戦略のための各種データの収集・分析等を行う。 また、大隅地域ブランド化を図り、将来的には集客・消費拡大による地域産業の振興、雇用創出、定住促進を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本版DMO「大隅広域観光協会(仮称)」設立に係る経費 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 専門人材(観光コーディネーター)登用</li> <li>(2) 来訪者満足度、リピーター率等分析</li> <li>(3) 地域内機運醸成及び観光地域づくり人材育成に係る研修会等</li> <li>(4) 地域資源を活用した稼ぐ力創出事業(おおすみEXPO等の実施)</li> <li>(5) おおすみ観光未来会議の地域を知る活動事業(実地研修やパンフレット作成等)</li> </ul> </li> <li>負担金 3,589,000円</li> <li>広域観光計画の企画立案に係る経費 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 広域観光計画の策定 <ul style="list-style-type: none"> <li>負担金 264,000円</li> </ul> </li> <li>滞在プログラムの造成費 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 観光素材掘り起こし、磨き上げ</li> <li>(2) 滞在プログラム造成、テスト販売 <ul style="list-style-type: none"> <li>負担金 264,000円</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>計) 4,117,000円</li> </ul> </li></ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「おおすみ観光未来会議」参加事業者数 <ul style="list-style-type: none"> <li>80(平成28年度目標)</li> </ul> </li> <li>延べ宿泊者数 <ul style="list-style-type: none"> <li>495,200人(平成30年度目標)</li> </ul> </li> </ul>	<p>「おおすみ観光未来会議」参加事業者はH29.3.31現在で100団体となり、目標を上回った。日本版DMOの設立に向けた事務的作業は、観光コーディネーターの登用、マーケティング調査、体験プログラムの試験販売、おおすみ食のEXIPOの開催や、各部会での検討等計画通りに進んでいると考えている。観光計画については、基本認識という形でまとめられることとなったが、意図的なものであり、計画通りと考えている。 29年度においては、法人格の取得や担い手となる人材の候補者の選定、体験メニューの販売等を計画しているが、トップに立つ人材の確保が困難と予想され、民間主導となるかどうかを鍵を握る年度となると考えている。</p>
平成27年度地域少子化対策重点推進交付金(H27年度繰越)	志布志市若年者希望醸成事業～あなたの個性が武器になる～	846,519	846,519	企画政策課 男女共同参画推進室	<ul style="list-style-type: none"> <li>独身男女のコミュニケーション講座 これまで、市主催及び市後援により民間団体が実施した婚活イベントにおける事例を分析したところ、自然な会話、異性の目を見て話す、相手への思いやり姿勢等、対人スキルが成功の不可欠要素であることが判明した。また、年齢や体型といった要素より、身だしなみ等、改善が容易な要素が結果を左右する傾向も明らかとなった。 本事業では、これらの課題解決に特化したプログラムを開催し、成功率を上昇させるものである。婚活イベントは12月～3月に開催が集中する為、4月～11月に講座を実施する。また、本講座は市主催及び後援の婚活イベントへの参加を募集条件とし、真剣に婚活に取り組む人を全力でサポートする。特に実践編については、少人数制による全員に目が行き届くような配慮や男女別、世代別のクラス制とするなど、参加者の個性や傾向、希望に対してきめ細かく指導できる体制とする。さらには、地域住民によるこころざし婚活ボランティアサポーター制度(仮称)を導入し、決め細やかなアフターケアを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーション講座(座学) 3回 「独身男女のスキルアップセミナー～異性に選ばれる自分になるには～」29人参加 「結婚支援セミナー～結婚への道筋や幸せな結婚についての実例～」18人参加 「家庭・家族を持つって素晴らしい～結婚の苦労幸せを、子育てを通じて成長する自分を～」45人参加</li> <li>コミュニケーション講座(実践編) 5回</li> <li>ファッション講座 2回</li> <li>メイクアップ講座 2回</li> <li>シュミレーション講座 1回</li> <li>役務費 155,520円</li> <li>委託料 690,999円</li> <li>計) 846,519円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 講座参加者アンケートにおいて、「講座の受講により、前向きな気持ちで婚活に臨むことができる」と回答した人の割合 【目標】80%以上 → 【実績】85%</li> <li>(2) 講座参加者が実際の婚活イベントに参加した割合 【目標】75%以上(うちカップル成立7組) → 【実績】20%(うちカップル成立1組) ※市の主催事業(別事業)におけるの参加実績による。</li> </ul>	<p>大隅半島全域に配布されるフリー雑誌に掲載し、周知を図った。 (1) コミュニケーション講座 ・座学 3回開催 定員210人に対して参加者 92人(参加率43.8%) ・実践 5回開催 定員200人に対して参加者 134人(参加率67.0%)</p> <p>(2) 婚活イベントは、連携予定の団体の都合がつかず実施できていない。</p>
総計		34,933,088	25,264,274					